

解釈で9条をこわすな

集団的自衛権

海外で
殺し
殺される
国へ

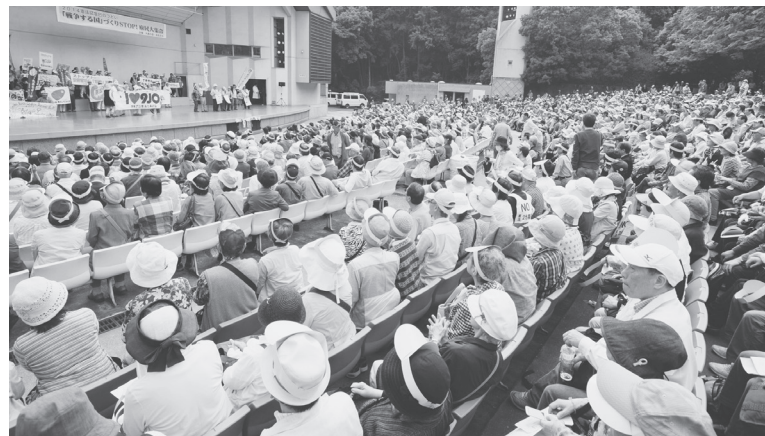


折り目

STOP 海外で戦争する国づくり



集団的自衛権行使・多国籍軍参加



「守ろう憲法9条」と3000人が集会 5月3日、大阪城野外音楽堂（大阪民主新報社提供）

政府の憲法解釈を変更し、9条をこわしてしまう—解釈改憲の動きが緊迫しています。安倍政権が早期に閣議決定をめざす集団的自衛権の行使容認です。

憲法上の「歯止め」なくす

集団的自衛権行使とは、日本に武力攻撃がなくても、他国のために武力行使すること。集団的自衛権行使を容認

すれば、「海外で武力行使をしてはならない」という憲法上の「歯止め」をなくすことになります。

ねらいは、「集団的自衛権の行使」「多国籍軍への参加」の2本柱で、日本を「海外で戦争をする国」にしようということです。断固として「ノー」です。

日本共産党